編集委員会から

英文論文の「和文要約」のご活用のお勧め

日本食品工学会誌の著者の方から，次のようなご質問（意訳）をいただきました．「日本食品工学会誌には国内の読者の方に読んでいただきやすいように和文論文で投稿しているが, 掲載されると国外から英語での問合せを受ける．英訳論文の出版はできないだろうか？」

日本食品工学会誌 Japan Journal of Food Engineering が国外からも読まれていることは喜ばしいことです．掲載された論文は会誌発行の数週間後には J-STAGE で公開され（会誌の発行が年 4 回なので，一部ですが早期公開も行っています），無料で PDF ファイルをダウンロードできますし，世界的な文献データベースの Scopus にも登録されています．また，和文論文も英文タイトル・英文要旨・図表の英語化・引用文献の英文表記をお願いしています．和文論文の英文部分だけでも概要が分かるため，研究内容に関心を持たれた国外の方からも著者の方へのお問合せが送られていると思われます．

英訳論文のご出版についてですが，日本食品工学会誌ではオリジナルの論文のみを受け付けておりますので同じ内容の英文論文の投稿を受け付けておりません．一方，日本食品工学会誌では，該当の論文を執筆された著者の方に対しては，転載先等を記入した転載許可申請書（学会ウェブページに申請書の様式を掲載しています）をお送りいただければ，転載許可書を発行しております．英訳された和文論文の一部または全部を他の雑誌や書籍に転載していただくことが可能となります（転載先の論文には，引用元，すなわち，日本食品工学会誌掲載論文の雑誌名・著者名・論文題名・巻・ページ・発行年を明記してください）．しかし，以前は非英文論文を英訳した論文誌（International Chemical Engineering: a quarterly journal of translations from Russia, Europe and Asia, American Institute of Chemical Engineers, 1961-1994，など）もあったのですが，現在はオリジナルの論文以外の投稿を受け付ける学術雑誌はほとんどないと思われます．

編集委員長としてのお勧めは，最初のご投稿時に和文論文ではなく，英文論文をご執筆いただき，その「和文要約」をご活用していただく方法です．日本食品工学会誌では原著論文または技術論文の本文が英文の場合には，和文要約をご執筆いただいております（日本語を母国語としない著者の方は省略可能です）．和文論文の「和文要旨」は 400 字以内（ノートは 300 字以内）ですが, 英文論文の「和文要約」は 2500 字まで書いていただけます（ただし，論文題名・著者名・所属等も含みます）．そのため，図表や文献を引用しながら（図表番号や引用文献番号は英文論文本体のものをそのままご利用いただけます），論文の内容を詳しく記述していただくことが可能となっています．現状では，ご投稿いただいている英文論文の和文要約は数百字のものも多いのですが，英文論文とその和文要約をフルにご活用いただければ，国内外の読者の方に研究成果をアピールいただけると思います（ご活用いただいておられる著者の方もおられます）．

ご投稿の際のご参考にしていただければ幸いです．

（新潟大学　田中孝明）

© 2022 Japan Society for Food Engineering